

プログラム名		キャンプファイヤー		時 間	1.5～2時間
ねらい		1 火の神秘さによる感動を体験し、豊かな情操を育てる。 2 楽しい雰囲気の中、参加者の親睦を図り連帯感を高める。 3 創意工夫の態度や役割遂行などの責任感を育てる。			
活 動 内 容		火を皆で囲み、迎火のつどい・交歓のつどい・送火のつどいでレクリエーション・歌等を楽しんだり、火の大切さを共感する活動。			
対 象		小学生以上	活動可能人数	何人でも可	
展 開 例	1 入所時には、下記の事項を確認する。 ・ 時間、場所（つどいの広場、運動広場、キャンプ広場） ・ 活動費3,300円（リハーサル前までに、売店へ申し込み用紙を提出する。） ・ 用具、資料等の借用 ・ 事前指導の時間及び内容				
	2 準備・事前指導は16時30分から実施する （「玄海の家」指導員・約10分） ※キャンプファイヤーのつどい担当引率者と係の子どもは必ず出席してください。 ①会場準備（井桁づくりと配置、放送器具の点検等） ②諸注意（場所の安全確認、トーチの取扱い、後片付け等） ③リハーサル（指導は団体の希望による）				
	3 つどいの基本的な活動形態 第1部「迎火のつどい」→ 第2部「交歓のつどい」→ 第3部「送火のつどい」 （20分）（60分）（20分）				
	4 より楽しく有意義な活動にするため ・ 第1部、第3部は静かな雰囲気の中で進める。 ・ 第2部は楽しい雰囲気になるように内容を工夫する。 ・ 係分担や出しもの、進行は事前に決定し十分練習しておく。				
	5 トーチ(団体が持参)は安全管理上、係のみが持つ。				
	6 後片付けは団体で行い（燃え残りは翌朝に片付ける）、借用物の返却も確実に行う。				
実 施 上 の 留 意 点	1 <u>やけど等、事故に十分気を付ける。</u> 2 借用物の紛失に注意する。				
引率者の役割		活動中の安全確保			

「玄海の家」で準備できる物	火の長・女神の衣装、コードリール、ポータブルデッキ、灯油、資料（火の長のことば、誓いのことば、詩の朗読）
利用団体で準備する物	トーチ、活動費3300円（井桁用材木、井桁用薪、点火用の灯油）、マッチ、CDデッキ、音楽CD等出しもの等に必要なもの

○各係分担

係名	主な内容	人数
司会者	プログラム全体の司会進行をする。	1
火の長	つどいの責任者で迎火・送火のつどいの挨拶をする（通常、団体代表）	1
女神	営火を持って入場し、営火長に渡す役割を行う。	1
火の守	誓いのことばを述べるとともに、火床に点火を行う。	4～6
営火係	営火の調整と管理を行う。	1
音楽・照明	プログラムに合わせて音楽関係（BGM、歌等）・照明を担当する。	2～3

○展開例

キャンプファイヤー	第1部 迎火のつどい（20分）	※火勢を少しずつあげる
	①全員入場、整列・・・静かに入場（BGM） ②はじめのことば・・・司会者が担当 ③営火入場・・・女神が営火を持って入場し、火の長に渡す（BGM） ④火の長のことば・・・研修の意義、火にまつわる話（マニュアル有り） ⑤分火・・・聖火を火の守に分火する ⑥誓いのことば・・・火の守が順番で火に誓う（トーチは高くあげる） ⑦点火・・・火の長、火の守で中央の火床に点火する ⑧全員で斉唱・・・火に加勢する歌が望ましい	
	第2部 交歓のつどい（60分）	※火勢保つ（風向きに注意して）
	①レクリエーション・・・ダンス、ゲーム、歌（一体感を高め交流を深めるもの、簡単なもの） ②出しもの・・・内容（やる方も見ている方も楽しいものを工夫）、時間、数等は事前に把握しておく	
	第3部 送火のつどい（20分）	※火勢を少しずつおとす
	①全員で斉唱・・・第3部は雰囲気づくりを考慮した歌が望ましい ②トーチ点火・・・火の長は火床からトーチに採火する ③火の長のことば・・・研修で得た協力、友情等の話（マニュアル有り） ④全員で斉唱・・・別れの歌を全員で歌う（別れを惜しむような歌が望ましい） ⑤営火長退場・・・別れの歌の途中から井桁を一周しながら退場する ⑥終わりのことば・・・司会者が担当	